

腹腔鏡・胸腔鏡・ロボット消化器がん手術の スペシャリストが赴任しました。

合併症の発症率の低さは国内トップレベル

1996年より内視鏡外科手術を専門とし、主に上部消化器がん手術に携わってきた大塚耕司教授が、江東豊洲病院消化器センターのスタッフとして着任しました。

大塚教授は最先端手術となる腹腔鏡・胸腔鏡・ロボット手術のスペシャリストで、食道がん手術では20%ほどの発生率で肺炎の原因ともなる反回神経麻痺を、ほぼゼロに回避できる郭清手技を開発し、多くの食道外科医にもその概念が取り入れられています。昭和大学病院で作りあげた、チーム医療・食道がん癌ボードの実績をもとに、江東豊洲病院での構築、地域医療への貢献が期待されます。

ロボット手術開始しました。

支援ロボット(Davinci Xi)が導入され7月よりロボット手術が開始されました。大塚教授は、昭和大学病院での消化器外科ロボット手術(胃がん・食道がん)立ち上げに尽力され、多くの手術経験があり、プロクター(指導者)の資格も取得されています。

また、他大学でのロボット手術立ち上げ支援、海外での多数の手術経験と指導など、安全な食道がん手術普及のために活躍されています。

今後、消化器センターのロボット支援下手術の推進に携わり、多くの疾患に対するロボット手術を導入していく予定です。是非とも、適応を含めてご相談ください。

患者さんを肉親だと考え、最善の治療を最短で開始することをモットーとしています。外科医として、手術に関わった患者さんは、責任を持って診察し続ける気持ちです。是非とも、お気軽にご相談ください。

消化器センター教授 大塚 耕司

(おおつか こうじ)

<卒業大学>
昭和大学 1995年卒
<専門>
上部消化管がんに対する
内視鏡外科
ロボット手術
腹部救急疾患





毎月第1、2金曜日、第2土曜日が外来診察日ですが、外来日以外でも、早急に対応させていただきます。食道がんと診断・治療を推奨する方、セカンドオピニオンを希望される患者さんがおりましたら、是非ご紹介ください。

医療機関からご紹介いただく場合は

地域医療連携室までお電話ください



TEL: 03-6204-6130 受付時間 8:30~17:00

※月曜日~日曜日 (11/15・年末年始を除く)



**昭和大学
江東豊洲病院**

外来診療は

- ① **土日祝日も診療** (一部の科除く)
- ② 初診は**14:00まで受付**

〒135-8577 東京都江東区豊洲5-1-38 TEL 03-6204-6000

